

## 設 立 趣 意 書

私たちは新しいまちづくりへのひとつの手段として、エコミュージアム活動をとおした「まちづくり」を考えています。エコミュージアムとは 1970 年代に考えられた新しい博物館学の考え方であり、まちづくりや地域づくりの考え方の 1 つです。

この活動は地域の自然、歴史、文化、産業遺産を現地にあるがままに保存しながら調査し、結果を地域コミュニティの活性化のために還元しようとする手段です。

柴田町にこのエコミュージアムの考え方をあてはめた場合、どのような提案ができ、一年間携わった「まちづくり委員会」での提言がどのように表現できるかを考えるところから始めたいと考えています。

柴田町には施策の 1 つとしてのエコミュージアム構想があり、村田町との連携で一部稼働しつつありますが、この構想とも連携を取りながら行政との協働を提案したいと考えています。

また、柴田町以外でも同様の考え方で活動しているグループもあるように聞いています。これらのグループで共有認識を持つグループとのネットワークも地域の活性化のために有効な手段と考えますので積極的に連携を働きかけていこうと考えています。

「住んでいる人が地域の文化、自然遺産をより良く理解することで、住民相互の理解が深まり、地域での暮らしにもうひとつの楽しさを加えること。」これがエコミュージアム研究会の目的です。

明日の柴田町を作るため、皆様のご参加を呼びかけます。

- |    |  |
|----|--|
| 名称 | 「エコミュージアム研究会 せんなん」   |
| 目的 | 自然環境と生活文化を見つめるエコミュージアム活動をとおし、まちの再発見および地域社会の発展に貢献することを目的とする。  |
| 活動 | 1．調査研究、実践、普及活動<br>自然環境、地域資源および歴史文化の調査研究・保存活動<br>2．情報発信（まちの記憶の保存と発信）<br>地域ポータルサイトによる情報発信<br>3．研修活動およびイベント企画 |